

ビク

「ふーッふー……ッ
あゝ……堪らねえ……」

「や……あッ！
ふっぐ……ぐッ！！」

ビク

すぢぢ

びく

びく

びく

びく

ビク

「はあはあ……
エリゼま●こすげ……
ち●ぼ溶ける……ッ」

「あ……ぐッ！
お……お願い……し……ます……
も……うや……め……」

ビク

すぢぢ



「ふっ…ぐっ…おおお…
やべ…やべえ腰が止まらねえッ!!」

「ぐんっ!
ぐっ…やッ!」

「ふっエリゼちゃん
種付けッ種付けいくよッ!」

「た…たね…つけ…?」

「あゝ種付け分からない?(笑)
俺の精子ま●この膈内なかにぶちまけて
エリゼちゃん妊娠させちゃうって事♡」

「に…んし…ん…」

「俺のガキ産めるんだぜ
嬉しいだろエリゼ♡」

すぢぢ

すぢぢ



「ふっふっ種付けッ種付けッ!!
絶対に俺のガキ産ませてやるッ!!」

「ひいいいッ!!
誰かッ誰かあああッ!!」

「う……くッ……」

「暴れられると……締りが……
やべ……も……う……限界……ッ!!」

「オラッ射精すぞッ射精すぞエリゼッ!!
俺様のガキ孕めえええッ!!」

「嫌いやああああッ!!」



ずちゅ

ずちゅ

ずちゅ

ずちゅ

バタ

バタ

バタ

バタ

びん

びん

びん

びん

「ふ〜…お〜…
エリゼ孕め…孕め…ッ」

「う…あ…あお…」

「はあ…はあ…
まだ射精る…止まらねえ…
初物は最高だわ…(笑)」

「や…あ…
あ…か…ちゃん…いや…」

「へへッ俺のペットとして
しっかり調教してやるからなエリゼ♡」

「あ…あ…に…い…ま…たす…げ…」



—数か月後—

「オラツエリゼ!
いつものおねだりはどうした!？」

「はひッ!

「くださいッください♡
ごひゅじんさまのだねじるを
エリゼの：エリゼのおま●ごに
びゅーびゅーっでして欲しいです♡」

「よおーしよおーし良い子だ♡

「たっぷり射精^だしてやるからな
ちゃんとイクんだぞエリゼ」

「はひッはひッ!

「イきます♡イきます♡」

びん

びん
びゅー
びゅー

びゅー
びゅー

びん

びん

びん

が

が

「イけッイけエリゼッ!
俺様の種付けでイけオラああッ!」

「ふわああッイぐ♡
ひいぐううううう♡」









